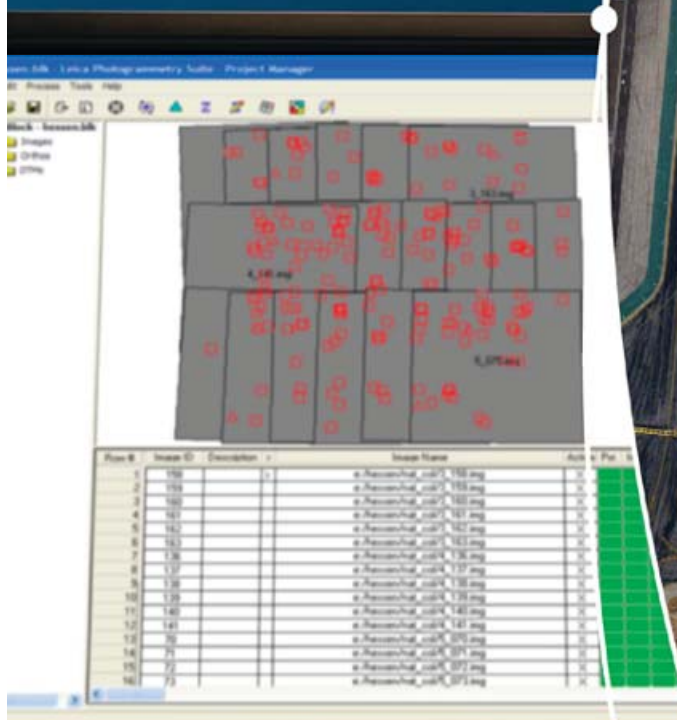


LPS

Productivity
Accuracy
In-Depth
Functionality



フォトグラメトリの新スタンダード

近年、ジオスーパリアル情報へのニーズが目覚しく高まってきています。ジオスーパリアル情報のプロでない人々・組織もジオスーパリアル情報がビジネスに貴重な情報をもたらすことを認め始めています。また、フォトグラメトリが必要な人にとっては、業務を簡素化して、より速く管理しやすいワークフローにすること、ディテールに妥協することなくカスタマーの要求を満たし、慣れ親しんでいる機能を活かしつつ、これまで以上に生産レベルを上げるということが大命題です。

フォトグラメトリの新しいスタンダード LPS (Leica Photogrammetry Suite) はスムーズな作業環境を整えるフォトグラメトリの統合ソフトウェアで、デジタルマッピング、GIS 解析および 3D ビジュアル化に必要な、ローデータから信頼できるデータレイヤーへの変換を可能にします。

生産性のアップ

信頼できる地形情報へ効率よく変換し、工程単位で処理していくシステムは、生産性を上げる第一の鍵となります。LPS では、自動内部標定・自動タイポイント測定・自動地形抽出・インテリジェント・マルチイメージ・ローディングのような機能により、同じ操作を繰り返すことなく必要な分野でのデータの微調整を可能にします。また、一目で分かるインターフェースは覚えやすく扱いやすいため、時間の節約を可能にします。ツールバーはユーザーのガイド役となり、プロジェクトの最初から最後までリードします。また、他の多くのフォトグラメトリソフトウェアからのデータも LPS で使用することができるので、データの変換という問題もありません。PRO600 や ORIMA も継続して使用することができ、必要であれば LPS の相当するモジュールへ移行してお使いいただくことができます。

信頼の高精度

フォトグラメトリにおいて精度は重要です。ですから LPS は微調整が可能な最新の画像処理アルゴリズムを採用し、ユーザーが納得いくデータ精度をご提供します：

- 自動タイポイント測定 (APM) と地形抽出
- サブピクセル・ステレオ表示と座標測定
- 実証済みの画像空三
- 厳密なセンサーモデル
- データチェック機能

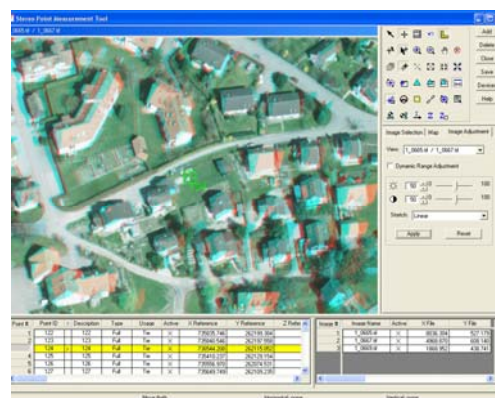
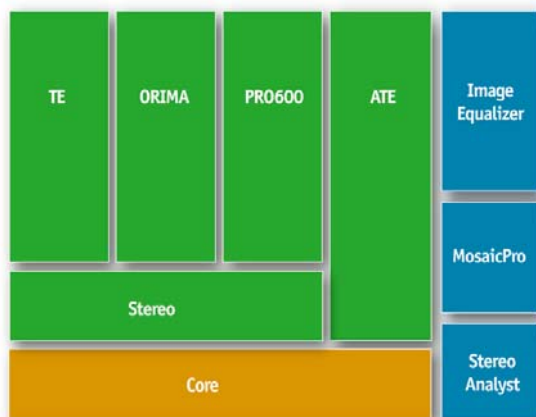
高いコスト・パフォーマンス

高度なテクノロジーに必ずしもハイ・プライスが伴うわけではありません。LPS はお手頃な価格でユーザーのニーズに合う機能をご提供いたします。また、LPS はさまざまなモジュールからなるアドオン方式ですから、必要なツールのみを購入してユーザー独自のシステムにテーラーメイドすることができます。その他、目的ごとに効率の良いパッケージもご用意しています。

常時専門スタッフがスタンバイしており、また、トレーニングやカスタマイズ、オンサイトでのインсталレーションのご相談も承ります。

お気軽にお問い合わせください。

LPS の構成



LPS Core でのステレオ画像点測定

LPS Core

LPS Core では、パワフルでありながら標定やオルソ偏位修正が簡単に行えます。このモジュールは、ローデータから信頼できる地形情報データに変換する際必要なすべてのツールを提供します。以下のように広範囲にわたる多彩な機能を搭載しています：

- フォトグラメトリ・プロジェクトのセットアップおよび管理
- さまざまなセンサーモデルに対応
- 自動内部標定
- マニュアルおよび自動のタイポイント測定
- 画像空三(各種衛星対応)
- オルソ偏位修正
- テレインの生成と変換
- 画像処理ツール
- 画像のインポート・エクスポート
- 地図作成
- ERDAS IMAGINE® Advantage :
モザイク/データ補間/高度な画像変換/オルソ偏位修正/解析など、画像データに関わるさまざまな処理をサポートするジオグラフィックイメージング・ツール

拡張モジュール

LPS はフレキシブルなアプリケーションで、Core モジュールと必要なツールを組み合わせ合わせて使います。拡張モジュールはさまざまな用途に特化しており、最大限のデータ処理が期待できます：

LPS Stereo :

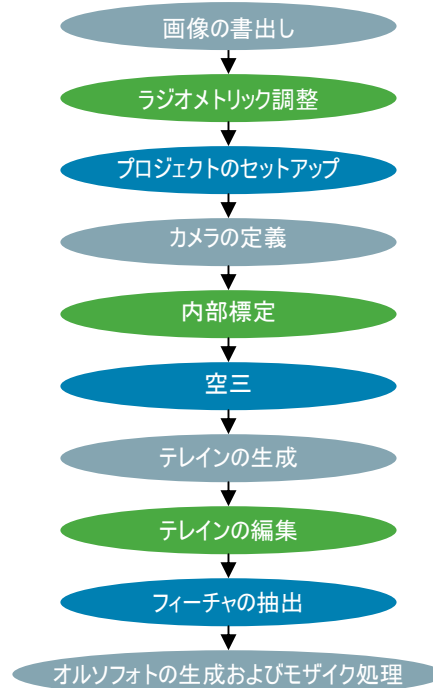
抽出した地形情報をステレオ環境で観測。サブピクセルの点測定、連続ローミング、ズーム、素早いレンダリングなどの機能も搭載。観測モードにはステレオ、スプリットパネル、モノ、3画像表示(ステレオ画像、左右分割画像、単画像)をご用意。

ATE : 複数の画像からスピーディで正確な自動地形抽出をサポート。精度レポート機能付き。

LPS TE : リファレンス・バックドロップとしてステレオ画像を使い精度の高い DTM を得るため、点、エリア、線ベースで地形データを編集。Leica Terrain Format、TerraModelTIN、ラスター DEM など多くの DTM フォーマットをサポート。

ORIMA : モダンで使い勝手のよい標定管理ソフト。画像座標、基準点、GPS 座標の大量のデータを処理。アナログ/デジタルのフレームセンサー画像および ADS40、ADS80 で取得した画像の空三標定をサポート。

フォトグラメトリのワークフロー



ERDAS MosaicPro :

モザイクツールユーザーにとって便利な継ぎ目編集機能、およびラジオメトリック調整機能を搭載。

PRO600 : ステレオ画像を使ったフレキシブルで使いやすい大縮尺デジタルマッピング用の CAD ベースのツール。サイン、シンボル、カラー、線の太さ、ユーザー定義の線種・フォーマットの使用が可能。

Stereo Analyst for ERDAS IMAGINE :

ステレオ画像でフィーチャの抽出、3D モデルの生成、変換、計測およびビジュアル化して 3D 情報を導きだします。

Image Equalizer® :

ホットスポット、周辺光量、大気条件、フィルム処理による画質のばらつきを修正するアプリケーション。

■ 主なバンドル一覧

	Core	Stereo	ATE	TE	ORIMA	PRO600	Image Equalizer	ArcGIS
マッピングパッケージ	●	●	●	●	●	●	●	
自動 DTM 生成パッケージ	●	●	●	●				
対話型 DTM 生成パッケージ	●	●		●				
大縮尺用空三パッケージ	●	●			●			
GIS マッピングパッケージ	●	●	●	●				●
エンジニアリングデータ収集パッケージ	●	●				●		
オルソモザイクパッケージ	●						●	

* 表中の ORIMA はいずれも “ORIMA DP TE/GPS”



ES-Editor for LPS

MicroStation V8 ベースの地図作成・編集ツール ES-Editor と LPS を組み合わせて使用し、図化・編集・GIS までのトータルソリューションをご提供します。

- 作業の効率化を考えた縮尺設定
1/500～1/10000 までの縮尺をひとつのソフトウェアで管理・対応。
- 効率的なフィーチャーコードを採用
4桁の図式分類コードと2桁の図式区分を組み合わせた6桁のコードで要素を認識。この6桁のコードは国土交通省公共測量作業規定の標準フォーマットの入出力に最適な形態。
- 実作業に適した3次元編集ツール(2次元から3次元へ)
面・DTM・標高・線の延長などのロック機能があり、3次元編集をサポート。



ユーザーインターフェース TopoMouse



Planar 社製ステレオディスプレイ SD シリーズ

このカタログの仕様は改良のため予告なしに変更する場合があります。

- MicroStation は(株)ベントレー・システムズ、その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- お問い合わせ: erdas@leica-geosystems.co.jp

ライカジオシステムズ 株式会社 ERDAS 事業部
〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート
tel. 03-5940-3100 fax 03-5940-3191
http://erdas.lgkk.jp